



TRAKTOR KONTROL Z1

オペレーション マニュアル



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes, iPod, iPad, OSX, are registered trademarks of Apple Inc, registered in the U.S. and other countries. iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries, where it is used under license.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Native Instruments GmbH

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 2.6.2 (06/2013)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

Germany

Native Instruments GmbH
Schlesische Str. 29-30
D-10997 Berlin
Germany
www.native-instruments.de

USA

Native Instruments North America, Inc.
6725 Sunset Boulevard
5th Floor
Los Angeles, CA 90028
USA
www.native-instruments.com

Japan

Native Instruments KK
YO Building 3F
Jingumae 6-7-15, Shibuya-ku,
Tokyo 150-0001
Japan
www.native-instruments.co.jp



© Native Instruments GmbH, 2012. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1	TRAKTOR KONTROL Z1 へようこそ！	7
1.1	資料の注釈について	7
1.2	資料内での各呼称について	8
1.3	TRAKTOR KONTROL Z1 資料について	8
1.3.1	セットアップガイド	8
1.3.2	TRAKTOR KONTROL Z1 マニュアル	8
1.3.3	TRAKTOR マニュアル	8
2	システムと電源の動作環境	9
2.1	電源の動作条件	9
2.2	ソフトウェア動作環境	9
3	Z1 で TRAKTOR を操作する	10
3.1	TRAKTOR 操作のための Z1 の主要機能	10
3.1.1	デッキボリュームコントロールとクロスフェーダー	10
3.1.2	チャンネルゲインの調節	11
3.1.3	ヘッドフォンキュー	11
3.1.4	フィルターモード	12
3.1.5	TRAKTOR デッキの再生と停止	13
3.1.6	MIDI コントローラーとして TRAKTOR KONTROL Z1 を使用する	13
3.1.7	追加コントローラーの使用	14
4	Z1 で TRAKTOR DJ を操作する	15
4.1	TRAKTOR DJ 操作のための Z1 の主要機能	15
4.1.1	デッキボリュームコントロールとクロスフェーダー	15

4.1.2	チャンネルゲインの調節	16
4.1.3	ヘッドフォンキュー	16
4.1.4	FILTER FX Modes	17
4.1.5	フィルターモード	17
4.1.6	FX モード	17
4.1.7	TRAKTOR DJ デッキの再生と停止	18
5	TRAKTOR KONTROL Z1 ハードウェアリファレンス	19
5.1	イントロダクション	19
5.2	リアパネル	19
5.2.1	DC 電源	20
5.2.2	USB コネクション	20
5.2.3	OUTPUT セクション	21
5.2.4	ケンジントンロックポート	21
5.3	フロントパネル	22
5.4	トップパネル	23
5.4.1	MAIN ノブ	24
5.4.2	GAIN ノブ	24
5.4.3	EQ (HI、MID、LOW)	24
5.4.4	フィルターノブ	26
5.4.5	モードボタン	26
5.4.6	ヘッドフォンとキューコントロールエリア	27
5.4.7	ボリュームフェーダーとクロスフェーダー	28
5.4.8	レベルメーター	29

6 付録	30
6.1 TRAKTOR の Z1 用環境設定	30
6.1.1 Restore Default	31
6.1.2 Calibration	31
6.1.3 LEDs	31
6.1.4 MIDI モード	32
索引	33

1 TRAKTOR KONTROL Z1 へようこそ！

TRAKTOR KONTROL Z1 をご購入いただきありがとうございます。

TRAKTOR KONTROL Z1 は TRAKTOR 専用ミキサー/オーディオインターフェイスで、コンピュータ上で TRAKTOR ソフトウェアを使用、または iOS デバイスで TRAKTOR DJ アプリを使用する際に、ミキサーとしてダイレクトなコントロールを実現します。このコントローラーはプロ仕様のポータブル DJ ソリューションです。

この TRAKTOR KONTROL Z1 マニュアルの内容は以下となります。

TRAKTOR KONTROL Z1 で TRAKTOR を操作するまでの各情報を解説します。

TRAKTOR ソフトウェア、TRAKTOR DJ アプリケーションを TRAKTOR KONTROL Z1 で操作するための主要機能を解説します。

TRAKTOR KONTROL Z1 の各コンポーネントの機能を解説します。

1.1 資料の注釈について

本資料では、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容を区別しています。



このアイコンの後に表記してある内容には、必ず従ってください。



この電球アイコンでは有効なヒントとなる内容を記載してあります。ここではしばしば機能をより効率よく使用するための解決策が記載されていますが、必ずこれを実行しなければならないという内容ではありません。作業効率を図るためには一度確認しておくことをお勧めします。

更に、以下の書体を使用する場合があります。

- 各（ドロップダウン）メニューで表示される内容 (*Open…*、*Save as…* 等) 及び、ハードドライブ、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
- 画面に表示される部分に関するテキスト(ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は **ライトブルー** で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをコンピュータの画面でも確認できるはずです。
- ハードウェア自体に表記されている名称は **オレンジ** で表記します。この書体が使用されている場合、同じテキストをハードウェアでも確認できるはずです。
- 重要な名称とコンセプトは **ボールド** 体で表示しています。

- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えてあります。

操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

1.2 資料内での各呼称について

本マニュアルでは TRAKTOR KONTROL Z1 を "KONTROL Z1" または "Z1" と呼ぶ場合があります。同様に TRAKTOR LE 2 ソフトウェアはほとんどの場合 "TRAKTOR" と呼びます。

1.3 TRAKTOR KONTROL Z1 資料について

1.3.1 セットアップガイド

Setup Guide は Native Instruments ウェブサイト www.native-instruments.com/go-z1 の TRAKTOR KONTROL Z1 レジストレーションページにあります。これが TRAKTOR KONTROL Z1 のソフトウェア、ハードウェアをインストールする際のガイドとなります。先に進むにはここでの内容を最初に行う必要があります。

1.3.2 TRAKTOR KONTROL Z1 マニュアル

今読んでいる資料のことです。Setup Guide を読み進め、各作業を終えたら、この資料を読み進めてください。では、この TRAKTOR KONTROL Z1 マニュアルを読み進めましょう。マニュアルでは Z1 による TRAKTOR ソフトウェア各オプションの使用方法を解説します。ハードウェアリファレンス ([↑ 5, TRAKTOR KONTROL Z1 ハードウェアリファレンス](#)) では機器の全機能を解説しています。

1.3.3 TRAKTOR マニュアル

TRAKTOR ソフトウェアの全詳細は TRAKTOR マニュアルを参照してください。TRAKTOR マニュアルには TRAKTOR ソフトウェアの *Help* メニューにある *Open Manual...* エントリからアクセスします。

2 システムと電源の動作環境

2.1 電源の動作条件

コンピュータを介して Z1 を使用する場合、機器は USB を介して電源供給されます。Z1 を iOS デバイスで使用する場合は、同封してある 15V/1.2A 電源アダプターを使用します。

2.2 ソフトウェア動作環境

製品を使用するためにコンピュータが必要な動作環境と互換性 に関しては Native Instruments ウェブサイトの TRAKTOR 仕様セクションを参照してください。

<http://www.native-instruments.com/en/products/traktor/dj-software/traktor-pro-2/specifications/>.

各オペレーションシステムでの互換性を確認するには <http://www.native-instruments.com/compatibility> を参照してください。

3 Z1 で TRAKTOR を操作する

この章では TRAKTOR を操作するための各主要機能を解説する前に、Z1 をコンピュータに接続する方法を説明します。Z1 で iOS デバイスの TRAKTOR DJ を操作する方法に関しては [↑4, Z1 で TRAKTOR DJ を操作する](#) を参照してください。



TRAKTOR の特定の機能に不明な点がある場合は TRAKTOR マニュアルを参照してください。



Z1 は 2 チャンネルのミキサーコントローラーです。ですからコントロール機能によってはデッキ A と B には有効でも、デッキ C と D では使用できない場合があります。

TRAKTOR について

熟練していない TRAKTOR ユーザーの場合、この章を読み進める上で TRAKTOR マニュアルを確認しなおす必要がある場合もあります。TRAKTOR に関してまったくの初心者である場合は、まず TRAKTOR マニュアルでいくつかのチュートリアルをこなす、または TRAKTOR Getting Started ガイドを参照して TRAKTOR を効率よく使いこなすためのヒントを得ておくといでしょう。

まずこの章を読み進める前提としてデッキや、デッキフレイバー、設定方法、ループ、キューポイント等の基本的な TRAKTOR のコンセプトや用語を理解している必要があります。更に、TRAKTOR のミキサーやエフェクトについても理解している必要があります。

もちろん TRAKTOR の多岐にわたる機能を使用しなくても Z1 を操作することはできます。しかし TRAKTOR ソフトウェアの全貌を把握しておくことで、Z1 に関しても効率よく理解を深めることができるでしょう。

3.1 TRAKTOR 操作のための Z1 の主要機能

すぐに Z1 を操作してミックスに取り掛かりたい気持ちはわかりますが、ほんの少しの時間を割いて TRAKTOR を使用する際の Z1 の主要機能に慣れておくことをお勧めします。

3.1.1 デッキボリュームコントロールとクロスフェーダー

Z1 は基本的に 2 チャンネルのミキサーコントローラーです。2 つのチャンネルフェーダーで、TRAKTOR ソフトウェアのデッキ A/B のボリュームをコントロールします。クロスフェーダーを左一杯に切り、A のボリュームフェーダーが上がっている場合は、デッキ A の音声のみが聞こえます。クロスフェーダーを右一杯

に切り、B のボリュームフェーダーが上がっている場合は、デッキ B の音声のみが聞こえます。以下のチュートリアルでは対応する TRAKTOR ソフトウェアでの各機能がどのように反応するかもあわせて確認してください。↑3.1.3, ヘッドフォンキュー

3.1.2 チャンネルゲインの調節

チャンネル **GAIN** ノブ は Z1 上部のフィルターと EQ セクションにあります。



Z1 を使用する場合、チャンネル **A** と **B** のみのゲイン調節が可能です。

チャンネル **GAIN** ノブは 2 種類の表示モードで調節することができ、それらは Auto-Gain レベルと User-Gain レベルとなります。User-Gain レベル表示モードでコントローラーの **GAIN** ノブを回すことで、同時に TRAKTOR ソフトウェアの **GAIN** ノブが反応します。

以下が 2 つのモード画面の内容です。

- **User-Gain レベル:** これが TRAKTOR のデフォルトモードです。ノブの周りの青いインジケーターリングが反応することでこのモードであることを確認することができます。Z1 で **GAIN** ノブを回すと、ミキサーチャンネルゲインが -inf から +12dB の設定値幅で変化します。ここでの設定は曲のファイルに保存されることはありません。
- **Auto-Gain レベル:** ラベルの隣にあるボタンをクリックすることで Auto-Gain level 表示モードが起動し、ラベルも **AUTO** へと切り替わります。起動すると、ノブはトラック分析の際に保存された Auto-Gain level を表示します (分析はライブラリにトラックをインポートする際に行われます)。ソフトウェアの Auto-Gain レベルを変更することで新規 Auto-Gain 設定値を曲のファイルに保存します。しかし Z1 で **GAIN** ノブを変更する場合は User-Gain レベルが変更されるのみで、Auto-Gain レベルは変更されません。

Auto-Gain の起動は環境設定を *Mixer > Level > Set Autogain When Loading Track* と進んでください。Auto-Gain の詳細に関しては TRAKTOR マニュアルを参照してください。

3.1.3 ヘッドフォンキュー

CUE VOL ノブは Z1 のトップパネルにあり、ヘッドフォンアウトプット音量を設定します。**CUE MIX** ノブでメインミックスのみを聞く、キューチャンネルのみを聞く、またはその両方をヘッドフォンで聞くことができます。

ヘッドフォンでのトラックキューは以下のように行います。

各デッキ A と B にトラックをロードします。

両方のデッキでプレイボタンをクリックし、再生を開始します。

1. **CUE MIX** ノブを真ん中に回します。

2. **CUE VOL** ノブを調節してヘッドフォンのボリュームを快適な状態に設定します。

チャンネルフェーダーを上げ、クロスフェーダーを使用して各トラックが再生されるか確認してください。

チャンネル A にクロスフェーダーを切り、デッキ A のトラックのみが聞こえる状態にします。同時にチャンネル B のチャンネルボリュームフェーダーを下げきります。

1. **CUE MIX** ノブの下のカューボタン **B** を押します。

ボタンが点灯し、デッキ B がキューチャンネルに送信され、ヘッドフォンで試聴可能な状態となります。これでキューが機能しているので、クロスフェーダーを動かしてもデッキ B を聞くことができるようになります。

▶ カューボタン **B** をもう一度押してキューを解除し、キューボタン **A** を押します。

クロスフェーダーを動かしてもデッキ A のトラックを聞くことができるようになります。これはデッキ A のキューが機能しており、更に **CUE MIX** ノブが中心に位置しているためです。

1. カューボタン **A** と **B** を押して両方起動します (点灯します)。

2. **CUE MIX** ノブを左一杯に回します。

ここで 2 つのカューボタンをオンオフと切り替えてください。両方のキューボタンがオフ (点灯していない場合) の場合、ヘッドフォンで音声を確認することができなくなります。

では両方のキューボタンをオフの状態にしてください。

1. **CUE MIX** ノブを右一杯に回します。チャンネルフェーダーが上がっている場合は、ヘッドフォンでメインミックスを確認することができます。



チャンネルフェーダーの両方が下がっている場合、ヘッドフォンで音声を確認することはできません。

クロスフェーダーを動かし、ヘッドフォンキューでメインミックスを確認してください。



ヘッドフォンで聞いているミックスとは関係なく、メインミックスはクロスフェーダーとチャンネルフェーダーでコントロールすることとなります。

3.1.4 フィルターモード

Z1 のチャンネルフェーダー上部には **FILTER/FX** ノブがあり、対応する **ON** ボタンがあります。 **FILTER** モードを起動すると、**FILTER/FX** ノブを一般的なフィルターのように使用することができます。時計回りに回すことで低域をカット、反時計回りに回すことで高域をカットします。この操作でも、TRAKTOR ソフトウェア上で対応するフィルターノブが同時に反応します。

- ▶ **FILTER** 機能を起動するには、**ON** ボタンを押し、青く点灯させます。



ON ボタンをもう一度押し、**FILTER** 機能を解除します。解除されるとボタンが無灯の状態となります。

Z1 を使用して TRAKTOR のフィルタータイプを変更する

Z1 では TRAKTOR を介して 2 種類のフィルタータイプを選択することができ、デフォルトタイプは Z フィルター、もう一つはラダーフィルターとなります。フィルタータイプの切り替え方法は以下となります。

1. Z1 の **FILTER** が解除されているか（無灯の状態）確認してください。
2. **MODE** ボタンを押ししてください。

→ **MODE** ボタンが反応します。

- ▶ **FILTER** を起動させるには、Z1 の **ON** ボタンを押し、ボタンを青く点灯させます。



デフォルトの Z フィルターに切り替えるには、上記の方法を繰り返します。



FILTER/FX ノブの二重機能は TRAKTOR DJ 使用時のみで機能します。

3.1.5 TRAKTOR デッキの再生と停止

Z1 で TRAKTOR デッキ (A & B) の再生、停止操作を行うことができます。この便利な機能は以下の方法で行います。

1. ヘッドフォンとキューコントロール (Headphone and Cue Control) エリアで **MODE + CUE** (A or B) を押すと、TRAKTOR の対応するデッキが再生開始します。
2. デッキの再生中に **MODE + CUE** をもう一度押すと、対応するデッキが停止します。

3.1.6 MIDI コントローラーとして TRAKTOR KONTROL Z1 を使用する

Z1 を第 3 者製のソフトウェア用 MIDI コントローラーとして使用することもできます。
TRAKTOR の環境設定 (preferences)を開きます。

1. TRAKTOR KONTROL Z1 の環境設定で、[Enable MIDI mode via Mode + Cues](#) オプションにチェックを入れます。
2. Z1 の MIDI モードを起動するには、**MODE + CUES** (**A** & **B** ヘッドフォンキューも押してください) を押します。

これで Z1 が第三者製ソフトウェアを制御するための MIDI コントローラーとして機能します。

詳細は ↑ [6.1.4, MIDI モード](#) と、Native Instruments ナレッジベース <http://www.native-instruments.com/de/support/online-help/knowledge-base-faq/> を参照してください。

3.1.7 追加コントローラーの使用

Z1 はポータブルなプロ仕様のミキサーソリューションとして設計されています。Z1 をコンピュータに接続して使用している場合、TRAKTOR KONTROL X1 等の追加コントローラーを簡単に接続し、TRAKTOR ソフトウェアを更に効率よく制御することが可能となります。

4 Z1 で TRAKTOR DJ を操作する

TRAKTOR KONTROL Z1 は iOS デバイス用 TRAKTOR DJ アプリ用に設計されています。このセクションでは Z1 による TRAKTOR DJ アプリの操作方法を解説する前に iOS デバイスに Z1 を接続する方法を解説します。ここで iOS デバイスは iPad、iPhone、iPod touch の事を意味します。



iPhone app は TRAKTOR DJ for the iPhone の事を指します。

Z1 は現時点で以下の iOS デバイスに対応しています。

- iPhone 4
- iPhone 4S
- iPhone 5
- iPod touch (4 世代)
- iPad 2
- iPad (3 世代)
- iPad (第 4 世代)
- iPad mini



iPad (第 4 世代)、iPad Mini、iPhone 5 で Z1 を使用するには、Apple 社の Lightning-to-Dock アダプターが必要です。

4.1 TRAKTOR DJ 操作のための Z1 の主要機能

このセクションでは iOS デバイスで TRAKTOR DJ アプリを使用する際の、Z1 によるアプリの主要機能の操作について解説します。

4.1.1 デッキボリュームコントロールとクロスフェーダー

Z1 は基本的に 2 チャンネルのミキサーコントローラーです。2 つのチャンネルフェーダーで、TRAKTOR DJ のデッキ A/B のボリュームをコントロールします。クロスフェーダーを左一杯に切り、A のボリュームフェーダーが上がっている場合は、デッキ A の音声のみが聞こえます。クロスフェーダーを右一杯に切り、B のボリュームフェーダーが上がっている場合は、デッキ B の音声のみが聞こえます。Z1 のクロスフェーダーを操作すると、TRAKTOR DJ 上のクロスフェーダーも反応して動きます。



TRAKTOR DJ のデッキ A は上部に、デッキ B は下部にあります。iPhone 用 TRAKTOR DJ ではデッキスライダースライダーがデッキ A が上に、デッキ B が下にあることを示します。

4.1.2 チャンネルゲインの調節

チャンネルチャンネルゲイン **GAIN** ノブ は Z1 上部のフィルターと EQ セクションにあります。Z1 を使用する場合、チャンネル **A** と **B**（および対応する TRAKTOR DJ のデッキ）のみのゲイン調節が可能です。**GAIN** ノブを時計回りに回すとデッキで再生しているゲインレベルが上がります。逆に反時計回りに回すことで再生しているトラックのゲイン音量が下がります。

4.1.3 ヘッドフォンキュー

CUE VOL ノブは Z1 のトップパネルにあり、ヘッドフォンアウトプット音量を設定します。**CUE MIX** ノブでメインミックスのみを聞く、キューチャンネルのみを聞く、またはその両方をヘッドフォンで聞くことができます。

ヘッドフォンでのトラックキューは以下のように行います。

各デッキ A と B にトラックをロードします。

両方のデッキでプレイボタンをクリックし、再生を開始します。

1. **CUE MIX** ノブを真ん中に回します。
2. **CUE VOL** ノブを調節してヘッドフォンのボリュームを快適な状態に設定します。

チャンネルフェーダーを上げ、クロスフェーダーを使用して各トラックが再生されるか確認してください。

チャンネル A にクロスフェーダーを切り、デッキ A のトラックのみが聞こえる状態にします。同時にチャンネル B のチャンネルボリュームフェーダーを下げきります。

1. **CUE MIX** ノブの下のカットボタン **B** を押します。

ボタンが点灯し、デッキ B がキューチャンネルに送信され、ヘッドフォンで試聴可能な状態となります。これでキューが機能しているので、クロスフェーダーを動かしてもデッキ B を聞くことができるようになります。

- ▶ キューボタン **B** をもう一度押してキューを解除し、キューボタン **A** を押します。

クロスフェーダーを動かしてもデッキ A のトラックを聞くことができるようになります。これはデッキ A のキューが機能しており、更に **CUE MIX** ノブが中心に位置しているためです。

1. キューボタン **A** と **B** を押して両方起動します (点灯します)。
2. **CUE MIX** ノブを左一杯に回します。

ここで 2 つのカットボタンをオンオフと切り替えてください。両方のキューボタンがオフ（点灯していない場合）の場合、ヘッドフォンで音声を確認することができなくなります。

では両方のキューボタンをオフの状態にしてください。

1. **CUE MIX** ノブを右一杯に回します。チャンネルフェーダーが上がっている場合は、ヘッドフォンでメインミックスを確認することができます。



チャンネルフェーダーの両方が下がっている場合、ヘッドフォンで音声を確認することはできません。

クロスフェーダーを動かし、ヘッドフォンキューでメインミックスを確認してください。



ヘッドフォンで聞いているミックスとは関係なく、メインミックスはクロスフェーダーとチャンネルフェーダーでコントロールすることとなります。

4.1.4 FILTER | FX Modes

TRAKTOR KONTROL Z1 の **FILTER/FX** ノブは TRAKTOR DJ 使用時には二重の機能を持ちます。一つ目は通常のフィルター機能で、二つ目の機能で選択したエフェクトをコントロールします。これら 2 つの機能は **MODE** ボタンで使い分けます。

4.1.5 フィルターモード

FILTER モードを起動すると、**FILTER/FX** ノブを一般的なフィルターのように使用することができます。時計回りに回すことで低域をカット、反時計回りに回すことで高域をカットします。

- ▶ **FILTER** 機能を操作するには、**ON** ボタンを押し、青く点灯させます。

4.1.6 FX モード

FILTER/FX ノブの二つ目の機能で Z1 の **FX** パラメーターを操作します。



この FX モードは Z1 で TRAKTOR DJ を操作する場合のみで利用できる機能です。

- ▶ **MODE + ON** を押して対応する FX モードに切り替えます。
- **ON** ボタンの色が青からオレンジに切り替わります。
- ▶ TRAKTOR DJ のエフェクトを使用するには、**ON** ボタンをもう一度押します。

→ **ON** ボタンが明るいオレンジに点灯します。



TRAKTOR DJ にはエフェクト用に 3 つのバンクを設けてあり、それぞれ 8 個のエフェクトを収納しています。一つのエフェクトを内部で選択すると、**FILTER/FX** ノブでそのパラメーターを制御可能、またはエフェクト量を調節することができるようになります。



FILTER/FX ノブで選択した TRAKTOR DJ エフェクトの XY パッドの X 値をコントロールします。エフェクトの Y パラメーターをコントロールするには TRAKTOR DJ 上で操作します。このように手動で選択したエフェクトを操作することで音声により生き生きとしたものとなります。



FILTER または **FX** モードが必要ない場合は、**ON** ボタンをもう一度押すことでモードを無効にします。

4.1.7 TRAKTOR DJ デッキの再生と停止

Z1 で TRAKTOR DJ デッキ (**A** & **B**) の再生、停止操作を行うことができます。この便利な機能は以下の方法で行います。

1. ヘッドフォンとキューコントロール (Headphone and Cue Control) エリアで **MODE + CUE** (**A** or **B**) を押すと、TRAKTOR DJ の対応するデッキが再生開始します。
2. デッキの再生中に **MODE + CUE** をもう一度押すと、対応するデッキが停止します。

5 TRAKTOR KONTROL Z1 ハードウェアリファレンス

5.1 イントロダクション

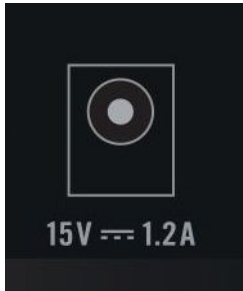
この章では TRAKTOR KONTROL Z1 の各部について解説します。その他のオーディオハードウェアと同様に、Z1 に慣れておくことでこの機器の可能性を全て引き出すことができるでしょう。

5.2 リアパネル



Z1 のリアパネルです。

5.2.1 DC 電源



Z1 のリアパネル部にある電源用端子です。

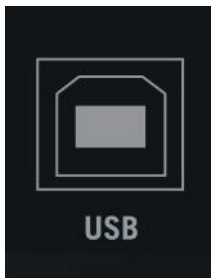
電源端子: 専用 DC プラグを Z1 のリアパネル部に接続します。



iOS デバイスの TRAKTOR DJ 用に Z1 を使用する場合は、DC 電源アダプターを常時接続するようにしてください。コンピュータ上の TRAKTOR 用に Z1 を使用する場合は、USB を介して電源を供給するので Z1 にパワーサプライを接続する必要はありません。



5.2.2 USB コネクション



Z1 のリアパネルにある USB 用端子です。

USB で Z1 をコンピュータに接続、または iOS デバイスを接続します。後者の場合、接続には Native Instruments iOS ケーブルを使用してください。



iOS デバイスの TRAKTOR DJ 用に Z1 を使用する場合は、DC 電源アダプターが必要となります。
コンピュータ上の TRAKTOR 用に Z1 を使用する場合は、USB を介して電源が供給されます。

5.2.3 OUTPUT セクション



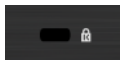
Z1 のリアパネルにある MAIN OUT です。

Z1 のリアパネルにある **MAIN OUT** セクションから使用しているアンプシステムに接続します。アウトプットレベルはトップパネルの **MAIN** ノブでコントロールします。

MAIN OUT

- **Unbalanced RCA:** RCA アウトプットでアンプシステムに簡単に接続することができます。

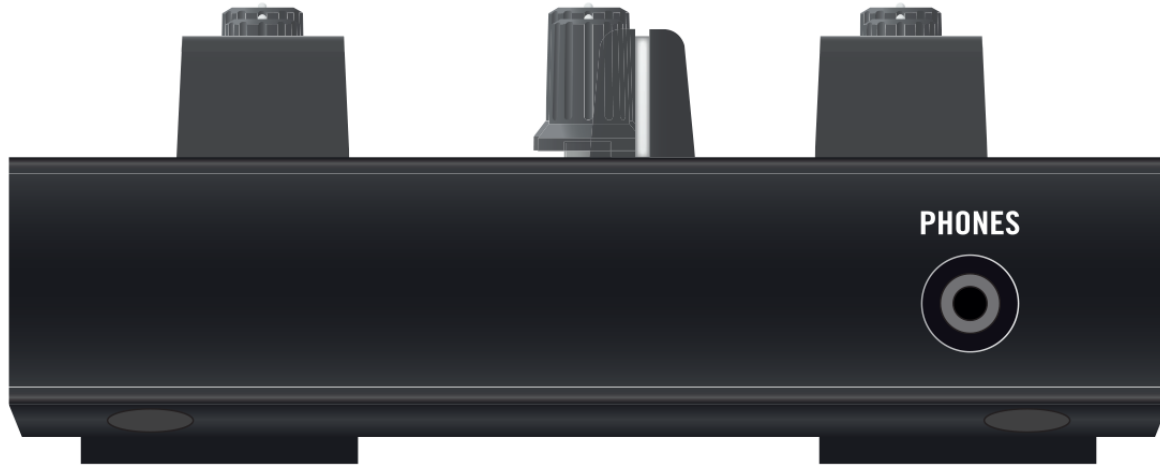
5.2.4 ケンジントンロックポート



リアパネルのケンジントンロックポートです。

このポートは Z1 の盗難防止に使用します。

5.3 フロントパネル



Z1 のフロントパネルです。

PHONES セクション

Z1 には 3.5mm (1/8-inch) ステレオヘッドフォン端子を用いてヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンインプットは Z1 のフロントパネルにあります。



Z1 のトップパネルにある **HP VOLUME** でヘッドフォンの音量を調節します。

5.4 トップパネル



Z1 のトップパネルです。

以下のセクションでは Z1 のトップパネルの全コントロール部とディスプレイを解説しています。各機能を熟知して Z1 を使いこなすのに役立ててください。

5.4.1 MAIN ノブ



トップパネルにある MAIN ノブです。

MAIN ボリュームノブで Z1 のリアパネルにある **MAIN OUT** のボリュームを調節します。

5.4.2 GAIN ノブ



トップパネルのデッキの GAIN ノブです。

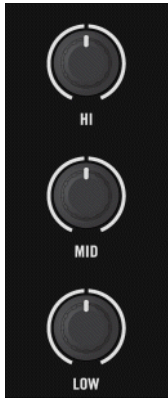
これらのノブで TRAKTOR の User-Gain と Z1 の内部ダイレクトゲインの両方を同時にコントロールします。これらのノブはデッキ A と B のゲイン専用コントロールです。



Z1 で直接トラック C と D のチャンネルゲインをコントロールすることはできません。

5.4.3 EQ (HI、MID、LOW)

Z1 の各チャンネル上部に **GAIN** ノブ、3 つの EQ ノブ (**HI**、**MID**、**LOW**) があります。Z1 の EQ セクションですばやく各周波数帯域を修正することができます。



Z1 の EQ ノブです。

HI-EQ ノブ

HI-EQ ノブで TRAKTOR ソフトウェア上の対応するチャンネルの高周波数帯域をコントロールします。ノブを中心にすると 0dB となり、この周波数帯域への影響がなくなります。

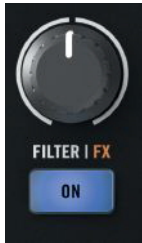
MID-EQ ノブ

MID-EQ ノブで TRAKTOR ソフトウェア上の対応するチャンネルの中周波数帯域をコントロールします。ノブを中心にすると 0dB となりこの周波数帯域への影響がなくなります。

LOW-EQ ノブ

HI と MID-EQ ノブと同じように、LOW-EQ ノブで低周波数帯域をコントロールします。LOW-EQ ノブを中心にすることで効果がなくなります。

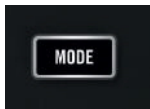
5.4.4 フィルターノブ



Filter ノブです。

2 つの **FILTER** ノブでフィルターをコントロールします。このフィルターはワンノブフィルターで、中心より左に回すとローパスフィルター、中心より右に回すとハイパスフィルターとして機能します。EQ ノブと同様に、ノブを中心にすると 0dB となりフィルター効果がなくなります。

5.4.5 モードボタン



MODE ボタンです。

MODE ボタンで (コンピュータの [Shift] を押すのと同様です) 各コントロールの副次機能を起動 (以下参照) します。

- iOS で TRAKTOR DJ を使用する際、**FILTER** ノブを FX 用に使用します。MODE ボタンを使用して Z1 のエフェクトモードを起動するための詳細は [↑ 4.1.4, FILTER | FX Modes](#) を参照してください。
- TRAKTOR の **FILTER** タイプを切り替える。詳細は [↑ 3.1.4, フィルターモード](#) を参照してください。
- TRAKTOR および TRAKTOR DJ でデッキを再生、停止する。 [↑ 3.1.4, フィルターモード](#) と TRAKTOR DJ デッキの再生と停止 を参照してください。

📖 TRAKTOR デッキの再生と停止 [[→ 13](#)]

📖 TRAKTOR DJ デッキの再生と停止 [[→ 18](#)]

5.4.6 ヘッドフォンとキューコントロールエリア



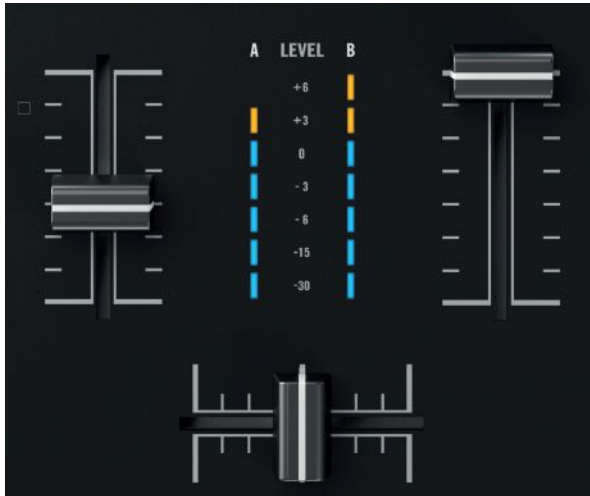
Z1 のヘッドフォンコントロールエリアです。

- **CUE VOL** (ヘッドフォンボリューム) ノブ: このノブを使用して Z1 のヘッドフォンボリュームを調節します。ヘッドフォンボリュームアウトプットはノブを反時計回りに回しきるとオフとなり、時計回りに回すほど音量が大きくなります。
- **CUE MIX** (ヘッドフォンキューミックス) ノブ: このノブでキューミックスを直接調節します。反時計回りに回しきるとヘッドフォンではキューチャンネルのみを聞くことができます。ノブを時計回りに回しきると、マスターシグナルのみを聞くことができます。ノブを中心にするとヘッドフォンでは両方を聞くことができます。このノブを左右に調節することで両方の音声のブレンド具合を調整してください。
- **A** と **B** (ヘッドフォンチャンネルキュー) ボタン: 2 つのヘッドフォンキューボタンは **CUE MIX** ノブの下にあり、試聴機能をコントロールします。オンの状態でチャンネルの音声はヘッドフォンに送信されるので試聴が可能となります。**MODE** 機能を使用したキューボタンによるデッキの再生と停止については、[こちら](#) を参照してください。

📖 TRAKTOR デッキの再生と停止 [[→ 13](#)]

📖 TRAKTOR DJ デッキの再生と停止 [[→ 18](#)]

5.4.7 ボリュームフェーダーとクロスフェーダー



ボリュームフェーダーとクロスフェーダーです。

チャンネルボリューム

チャンネルボリュームフェーダーで、各チャンネルのボリュームをコントロールします。

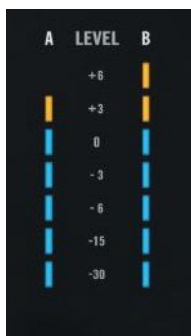


チャンネルフェーダーで、TRAKTOR デッキ A/B のみのボリュームをコントロールします。Z1 のチャンネルフェーダーにデッキ C/D をアサインすることはできません。

クロスフェーダー

クロスフェーダーで チャンネル A/B のミックスを行います。

5.4.8 レベルメーター



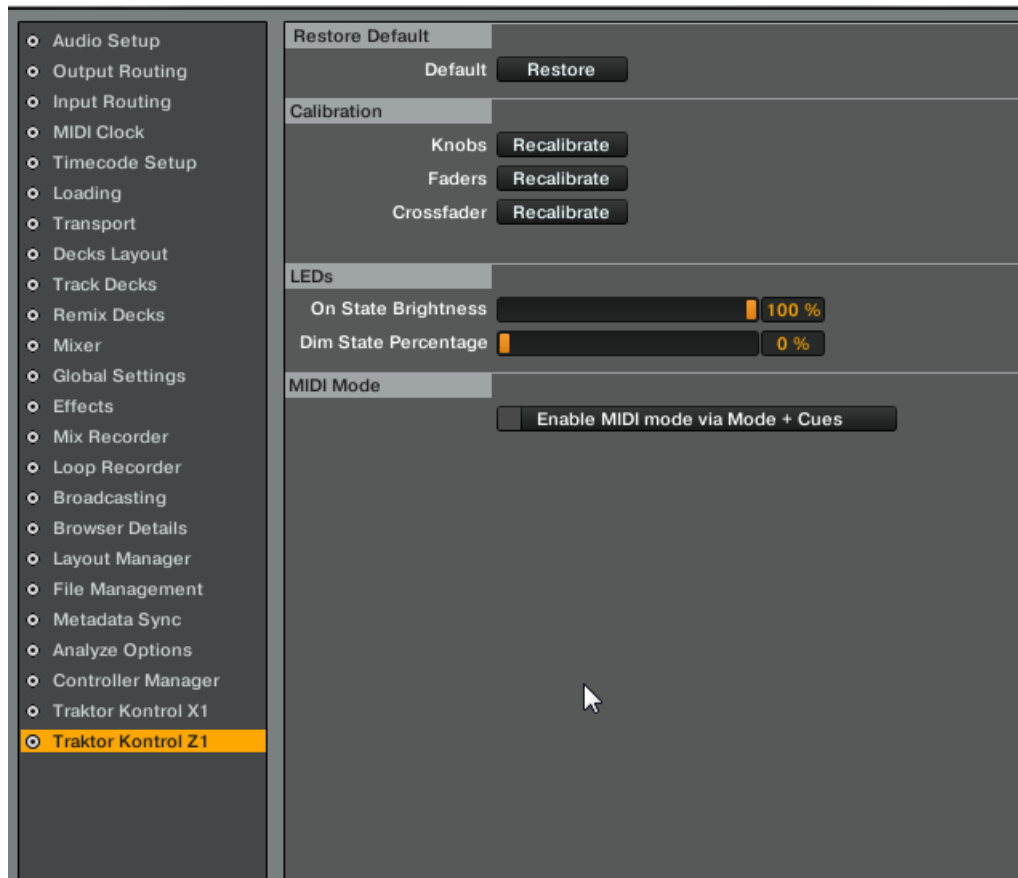
トップパネルのボリュームフェーダーの間にあるレベルメーターです。

Z1 のレベルメーター はクロスフェーダーの真上にあります。ここでは各デッキのプレフェーダーアウトプットを表示します。

6 付録

6.1 TRAKTOR の Z1 用環境設定

TRAKTOR の環境設定には TRAKTOR KONTROL Z1 専用セクションがあります。歯車のシンボル、またはソフトウェアの右上隅から、または *File > Preferences... > Traktor Kontrol Z1* と進んで TRAKTOR の環境設定を開きます。



TRAKTOR 環境設定の TRAKTOR KONTROL Z1 セクションです。

Z1 設定セクションには [Restore Default](#)、[Calibration](#)、[LEDs](#)、[MIDI Mode](#) の各エリアがあります。
詳細は以下を参照してください。

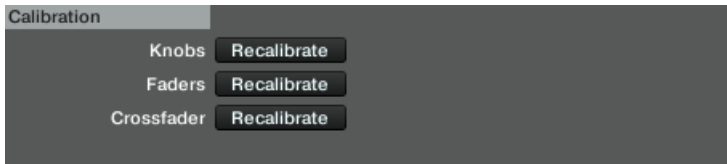
6.1.1 Restore Default



Z1 環境設定の Restore Default エリアです。

このボタンをクリックして Z1 の工場出荷時の設定内容を復元します。

6.1.2 Calibration



Z1 環境設定の Calibration エリアです。

Z1 コントローラーのキャリブレーションはここで行います。ボタンの一つを押すことで関係するミキサーコントロールをリキャリブレートします。

6.1.3 LEDs



Z1 環境設定の LEDs エリアです。

Z1 の LED の [On State Brightness](#) と [Dim State Percentage](#) をスライダーで調節します。[On State Brightness](#) でオンにした状態のボタンの明るさを設定します。[Dim State Percentage](#) でスタンバイの状態のボタンの明るさを設定します。

6.1.4 MIDI モード



Z1 の環境設定 (preferences) の MIDI Mode エリアです。

[Enable MIDI mode via Mode + Cues](#) にチェックを入れることで、Mode と Cues を押すことで Z1 を MIDI モードにすることができます。詳細は [↑ 3.1.6, MIDI コントローラーとして TRAKTOR KONTROL Z1 を使用する](#) を参照してください。

索引

クロスフェーダー [28]

ゲイン

調整 [11]

ケンジントンロックポート [21]

チャンネルゲイン

TRAKTOR DJ でチャンネルゲインを調節する
[16]

TRAKTOR でチャンネルゲインを調整する
[11]

チャンネルボリューム [28]

デッキの再生

TRAKTOR DJ の場合 [18]

TRAKTOR の場合 [13]

トップパネル [23]

ハードウェアリファレンス

FILTER ノブ [26]

MODE ボタン [26]

フィルターモード

TRAKTOR DJ の場合 [17]

ヘッドフォンキュー

CUE MIX [11] [16]

レベルメーター [29]

互換性 [9]

資料

Setup Guide [8]

TRAKTOR マニュアル [8]

マニュアル [8]

概観 [8]

追加コントローラー [14]

電源条件 [9]

動作環境 [9]

A / B ヘッドフォンキューボタン [27]

Auto-Gain レベル [11]

CUE MIX ノブ [27]

CUE VOL [27]

EQ [24]

HI-EQ ノブ [25]

LOW-EQ ノブ [25]

MID-EQ ノブ [25]

Filter Mode

TRAKTOR の場合 [12]

Filter Type [13]

FX モード TRAKTOR DJ [17]

GAIN ノブ [24]

MAIN OUT [21]

MAIN ノブ [24]

MIDI コントローラー

起動 [13]

PHONES [22]

TRAKTOR DJ 用主要機能

デッキボリュームコントロール & クロスフェーダー [\[15\]](#)

TRAKTOR Preferences

LEDs [\[31\]](#)

TRAKTOR 環境設定

MIDI enable [\[32\]](#)

Restore Default [\[31\]](#)

TRAKTOR DJ

iOS デバイス [\[15\]](#)

User-Gain レベル [\[11\]](#)